上富田町告示第　１５７　号

令和８第２回上富田町総合教育会議の議事録を別紙のとおり告示する。

令和８年１１月１２日

上富田町長　　奥田　誠

令和８年　第２回上富田町総合教育会議　議事録

開始期日　令和８年１０月２９日（木）16：00～17：15
開催場所　上富田町役場　本庁舎２Ｆ第一委員会室
出席委員　（町長）奥田誠
（教育委員会）教育長　泉　利明
教育委員　池田千秋　深見将史　岩﨑　央　栗田宏美
（町長部局）副町長 山本敏章　　総務課長 十河貴子　　福祉課長 木村陽子
総務課財政・管財班長 吉田展己
（説明のため）　振興課長　芝　健治
教育委員会事務局長　瀬田和哉
副局長　平岩　晃
給食センター長　芦口正史

開会
開会時刻　16：00

司会
本日は大変お忙しい中、令和 8 年第 2 回総合教育会議にご出席いただき、ありがとうございます。
ただいまより、総合教育会議を始めます。
開会に当たりまして、奥田誠町長からご挨拶を申し上げます。
町長
皆さん、こんにちは。
教育委員の皆様におかれましては、平素より本町の教育行政の推進にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。
また、本日はご多忙の中、総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。
本年第 2 回目となる本日の会議では、協議・報告事項として、主に 4 点についてお諮りします。
まず、1 点目は、本年 3 月に策定しました「上富田町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」についてです。
教職員の皆様が心身ともに健康で、子どもたちと向き合える環境づくりについて、教育委員会から説明します。
続いて、2 点目が「上富田町体育施設について」、3 点目が「紀州口熊野マラソンについて」です。
最後に、4 点目として、「さわやか上富田まちづくり寄付条例の一部改正」について、順次

説明します。
本日も、行政と教育現場が車の両輪となって、本町の未来を担う子どもたちのために何ができるか、実りある活発な議論が交わされることを期待し、開会の挨拶とします。
本日はどうぞよろしくお願いします。
司会
ありがとうございました。
それでは、会議に入ります。
会議の進行は、奥田町長にお願いします。
町長
それでは、お手元に配布しています会議次第に従って進めます。
まず、1「上富田町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について」、教育委員会事務局から説明があります。
＜資料に基づき説明　教育委員会事務局　平岩副事務局長＞
町長
ただいま説明のありました「上富田町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について」、何かご意見、ご質問はありませんか。
委員
ストレスチェックの項目および内容について伺いたいです。
副事務局長
ストレスチェックの項目については、専門機関が実施しているものを使用しています。
調査項目は多岐にわたり、その結果を分析してストレスを数値化しています。
町長
ほかにご意見、ご質問はありませんか。
なければ、次に、2「上富田町体育施設について」、振興課から説明があります。
＜資料に基づき説明　振興課　芝課長＞
町長
ただいま説明のありました「上富田町体育施設について」、何かご意見、ご質問はありませんか。
委員
デジタルスコアボードを野球以外にも使用すると説明がありましたが、どのような使い方をするのでしょうか。
振興課長
現在、事業者にソフトの開発を進めていただいています。
現時点で考えられるものとして、例えば健康教室では、ヨガ教室や介護予防のためのウォーキング、グラウンドゴルフの映像や順位などを映し出すことです。
青少年の健全育成では、子どもたちのラグビーやサッカーに野球場のスペースを活用でき

るのではないかと考えています。
ただし、あくまで現段階では設計中です。
町長
補足します。
現在設置しているバックネット側の AI カメラやセンター側のカメラを使用し、その映像をスコアボードに映し出すことも考えています。
また、ヨガ教室では、ヨガの講師を AI カメラで撮影し、スコアボードに映し出すことで、参加者が寝た状態でもスコアボードを見ながら運動できます。
和歌山ウェイブスの野球教室やオレンジサンライズのサッカー教室、その他の大会でも、例えば綱引きの様子を AI カメラで撮影し、デジタルスコアボードに映し出すといった活用もしています。
委員
分かりました。
委員
デジタルスコアボードの設置について、議員から質問等があったと認識しています。現在の状況はどうなっていますか。
振興課長
私が担当になってから、3 月、6 月、9 月の定例会および 8 月の臨時会を含め、質問を受けています。
先日からの決算審査特別委員会においても、さまざまな質問等がありました。
どの分野に投資すべきかという考え方について、意見が一致していない部分があるという状況です。
委員
ありがとうございます。
委員
（アンケート封筒を示しながら）
このアンケートが自宅のポストに入っていました。何人かに聞いたところ、地区によって届いた時期は異なるものの、同様にポストに入っていたとのことです。
宛先は「T 事務所」となっています。
アンケートの問 4 では、「上富田町で 2 億 5,000 万円を使って野球場の電光掲示板が設置されようとしています。町民の税金を何に優先して使うべきだと思いますか」という内容の質問があり、福祉や介護などの選択肢もあります。
このアンケートについて何人かと話しましたが、混乱を招くのではないかと感じました。
紀伊民報には、議会では最終的には賛成多数で可決されたと掲載されていました。
この件について、町はどのように把握していますか。

委員
私も同感です。
この件は議会でも正式に決定されたことです。
そのことを踏まえると、町民としては、賛成・反対について個人的にさまざまな意見があるとしても、議会で決定されたことについて、町の関係者がこのような活動をするのかという疑問を持ちます。
場合によっては、行政に対する不信につながりかねないと懸念しています。
私は、既に決定されたことであり、確かに高額なものですが、先ほど説明があったように、稼働率を高め、県内外の利用者にとって、健康増進やスポーツ文化の醸成につながるよう活用していくという説明を受け、納得しています。
しかし、あのようなアンケートが届くと、その内容が独り歩きしてしまうのではないかと懸念しています。
町長
このアンケートについて、私は把握していませんでした。
スポーツセンターの整備については、議会で質問をいただいています。
町民の意見を聞くのであれば、アンケートは議員の名前で実施するのが適切ではないかと思います。
また、委員がおっしゃったように、予算については、令和 7 年度に AI カメラの導入に係る予算を、内閣府の補助金を活用して実施するものとして、議会で可決していただきました。
令和 8 年度は、電光掲示板と AI カメラを連携させるための 2 億 4,000 万円の予算を当初予算として可決していただき、現在執行しています。
町としては、予算を可決していただき、執行している状況です。
一方で、議員の中には、電光掲示板を中止すべきという意見をお持ちの方もいます。
この回答でよろしいでしょうか。
委員
議員が自身の政治活動として町民に意見を求めることは自由だと思います。
一方で、決まったことに対する発言、各種会議等における発言などについては、町民の中にもさまざまな意見があるようで、不安に思う方もおられるので、他の事にも波及してくることがあるのではと懸念しているところです。
町長
はい。わかりました。
他にありませんか。
委員
資料 7 ページから 14 ページの中に、アンダーラインを引いている箇所があります。
アンダーラインを引いた意味を教えてください。

振興課長
説明する中で、重要な部分や強調したい部分にアンダーラインを引いています。
町長
ほかにご質問はありませんか。
なければ、次に、3「紀州口熊野マラソンについて」、振興課から説明があります。
＜資料に基づき説明　振興課　芝課長＞
町長
ただいま説明のありました「紀州口熊野マラソンについて」、あわせて「ワールドマスターズゲームズ 2027 関西について」、何かご意見、ご質問はありませんか。
委員
ワールドマスターズゲームズ 2027 関西が開催されるため、口熊野マラソンは中止になるのでしょうか。
また、近年、ボランティアの確保が困難であると説明がありましたが、具体的にどのように人材を確保しているのでしょうか。
あわせて、地域住民の負担軽減について、どのような負担を軽減するのか、もう少し具体的に説明してください。
振興課長
ボランティアについては、企業および町内会の皆様にお願いしています。
町内会については、高齢化などにより、人員の確保が難しい状況です。
負担軽減については、コース上に長時間立っていただくことによる負担が考えられます。冬場ということもあり、負担はかなり大きくなります。
そのため、警備会社への委託という方法も取っていますが、県内では同じ日に橋本マラソンが開催されており、警備員の確保も難しい状況です。
今後もこの状況が続くと考えています。
町長
補足します。
町長宛てに手紙が届いています。
その内容は、「これまで長年ボランティアをしてきたが、高齢になり、ボランティアをさせられているという感覚になった。新型コロナウイルス感染症の影響で大会が中止されていたときのほうがよかった」というものです。
また、コースの近くにお住まいの方からは、「通行止めにより、1 日中外出できない状況になる」といった意見も寄せられています。
今回の負担軽減については、このような意見も踏まえて検討しています。
また、職員もこれまでは無償のボランティアとして対応していましたが、働き方改革の中で代休を取得するようになりました。
さまざまなご意見をいただき、改善すべきところは改善するという考えのもと、今回のアン

ケート調査を実施することになりました。

委員

アンケート調査の結果はするけれども、継続するか中止するかは現時点では決まっていないという事でしょうか。

町長

現時点では決まっていません。

委員

私も町内会長を務めていますが、ボランティアを募集したところ、応募したのは私 1 人だけでした。おそらく、高齢化の影響もあると思います。

一方で、この大会を楽しみにしている県外の方だけでなく、毎年、地元に帰ってくる方もいます。

また、自分の普段の生活を最優先することは、当然のことだと思います。

大会を継続するにしても中止するにしても、アンケート調査を参考にしながら、継続するのであれば、ボランティアの人材確保について、登録制やシルバー人材センターの活用など、さまざまな方法を検討すべきです。

また、コースや開催時間を縮小・短縮することも、方法の一つではないかと思います。

したがって、アンケート調査だけで判断するものではないと思います。

以前、食事に行った先で、マラソンの参加者から声をかけていただいたことがあります。その方は毎年参加されているとのことで、その話を聞いてうれしく思いました。

確かに、何かを実施するには、それに伴う労力やリスク、負担があります。

しかし、スポーツ観光の振興やスポーツ文化の醸成という目的を明確に示すことで、電光掲示板についても、町民に理解していただけるのではないかと思います。

委員

口熊野マラソンの今後のあり方について、町がアンケートを実施するのでしょうか。それとも、口熊野マラソン実行委員会から出された意見として実施するのでしょうか。

振興課長

現在、アンケート案を作成しているところです。

実行委員会の皆様とも協議の場を持ち、内容等について確認していただいています。

この点については、今後も実行委員会の皆様と十分に協議を進めていきます。

委員

資金面などの影響により、全国的にマラソン大会が中止されるケースが増えていると聞いています。

そのような状況でも、十分協議していただくことをお願いします。

振興課長

分かりました。

委員

意向調査の対象者を有権者 2,000 人とする根拠は、どのような考えによるものですか。

振興課長

町の総合計画などの計画を策定する際には、通常、町内にお住まいの 18 歳以上の方から無作為に抽出して調査を実施しています。

その 5 分の 1 程度を抽出すると、おおむね 2,000 人になります。

今回も経費の問題などを考慮し、2,000 人としました。

委員

分かりました。

委員

アンケート調査の内容については、どこで協議するのでしょうか。

振興課長

現在、実行委員会の皆様にも相談しています。

最終的に反対が多いか、賛成が多いかだけで決定するのではなく、結果を踏まえて議論し、最終的には町長が判断するための材料にするものと考えています。

町長

現在、アンケートの差出人は、大会長である私と実行委員会委員長の連名とする予定です。

委員

アンケートで意見を把握するには、回答しやすい内容にする必要があります。一方で、簡素化しすぎると焦点がぼやけてしまいます。

今、町長と課長がおっしゃったように、アンケート調査だけで全てを判断するものではないという前提で実施するという考え方には賛成です。

町長

分かりました。

ほかにご意見はありませんか。

なければ、次に、4「その他」として、「さわやか上富田まちづくり寄付条例の一部改正について」、振興課から説明があります。

＜資料に基づき説明　振興課　芝課長＞

ただいま説明のありました条例改正について、何かご意見、ご質問はありませんか。

委員

「町政全般」とは、どういう意味ですか。

振興課長

1 から 3 までの項目以外で、必要と考えられる事業を指します。

寄附者が 4 番にチェックを入れた場合、その時々の財政状況に応じて、町政全般に活用します。

委員

「町政」という言葉が気になります。道路などの整備も含まれるのでしょうか。

振興課長
公共性・公益性のあるもので、1 から 3 までの項目に記載されていない事業について活用するという整理です。
委員
分かりました。
町長
補足します。
町においては、優先順位を付けて事業を実施していますので、そのような事業の財源として活用することもあるという事でご理解を頂きたいと思います。
委員
分かりました。
町長
ほかに何かありませんか。
ないようでしたら、その他、事務局から報告はありますか。
事務局
ありません。
町長
この機会ですので、委員の皆様から、その他について何かご意見等がありましたら、どのようなことでも結構ですので、ご発言いただければと思います。
いかがでしょうか。特にありませんか。

ないようですので、以上をもちまして、令和 8 年第 2 回上富田町総合教育会議を閉会します。
本日はありがとうございました。

以上のほか、協議・調整された事項はなかった。

閉会
閉会時刻：17 時 15 分

令和８年１１月１１日

上富田町長　奥田誠

上富田町教育長　泉利明